

議会活動36年の教訓

週刊

明るい小矢部

赤旗 読者通信 改題

2022.6.26
通巻No.1563

日本共産党
小矢部市委員会
市内七社 245
Tel 67-4322
Fax 67-4842

何でも
ご相談を



市議会議員
砂田喜昭
Tel 67-4322

政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はこぼ

赤旗
日刊 3497円
日曜版 930円

市議予定候補
上田由美子



禁無断転載
複写配布

砂田市議 最後の一般質問



「給食費の無償化をめざし、物価高騰から保護者負担軽減の支援を」、「学校統廃合の断念を」、「水道料の基本水量引き下げ」と質問しました。詳細の概要を紹介いたします。

最後の一一般質問で、36年間の議員生活をかきかえり、議会活動から学んだ教訓について三点を述べました。その概要を紹介いたします。

(1) 市民が困っていることを解決する

市民が困っていることについては、改善させるために力をつくす。良いことを言ったが、できなかったということにはさせない。市当局の答弁から手がかりになるものを次の質問に生かして、実現させていくという変革者の立場が重要だと思ふ。

たに学童保育が希望者殺到で断らなければならぬ、取り上げて欲しい」と要請された。この事態が明らかになったのは、その議員さんの質問が終わってしまった後だったからだ。

小矢部市の学童保育は、県内でも先進を歩んできた。これに取り組んだのは、ある先生が、教室の子どもたちにはしっかりと向き合っているが、自分の子育てに関われない、実家に預けているという悩みから

私の質問に、市長は「このことは、一昨日聞いた」と答え、4月からすぐに対応してくれた。私は正直いって6月補正になったのかと思っていた。それが4月からになった。その議員さんは、「困っている市民のためには、即座に解決しなければ」と考えて私に協力を要請されたのだと思ふ。その姿勢に、私は学ばされた。

(2) 行政の違法、理不尽さを正す

40年ほど前、私が議員になる前から、市立地区公民館建設に一世帯67万円も地元負担があった。建設費の4分の1を地元負担としていた。私は富山市にある行政監察局で地方財政法違反

が実現した。市民の世論で政治を改めることの重要性を学んだ。



(3) 議案提案権で市政を動かす

世論や市民運動と力をあわせるとも、議案提案権を使って市政を動かすことの大切さである。水道料金の値下げの例を紹介したい。

県が県水単価を引き下げると、小矢部市はその分を市民の水道料の値下げにまわしている。市民の署名運動が大きな力を発揮し、それとタイアップし

局や財政課の職員が大きな協力をえた。委員会では残念ながら否決されたが、その後2006年から、県が下げるとその分を市民の水道料金値下げにまわすように改善された。

